

地域資源及び観光資源の現況について

1 地域資源の現況について

板橋区では、平成27年3月に策定した板橋区シティプロモーション戦略において、区民が享受できるメリットである《3つのコア価値（「心豊かに」「親子で楽しく」「安心して快適に」暮らすことができる）》と、それを生み出す《9つの特徴》、そしてそれらを裏付ける《27の支える事実》をリストアップし、その関係性を明示している。

また、令和2年12月に策定した板橋ブランド戦略（板橋区シティプロモーション戦略 追録版）において、「板橋といえば」で想起される板橋という地域に根付いた事業や特徴として、いたばし花火大会などのイベントや事業、美術館や中央図書館といった場所、板橋のいっぴんなどの板橋製品のほか、《9つの特徴》を板橋地域資源ブランドとして整理している。

以上のことから、板橋地域資源ブランドを裏付けている《27の支える事実》を主な地域資源と捉え、その内容と板橋区シティプロモーション戦略等に位置付けた経緯について、以下のとおり示す。

(1) 地域資源の概要

板橋地域資源ブランド

「板橋といえば」で想起される、板橋という地域に根付いた事業や特徴

- いたばし花火大会などのイベントや事業
- 美術館や中央図書館といった場所（・事業）
- 板橋のいっぴんなどの板橋産品

<板橋区の9つの特徴>

ア) 文化や歴史が感じられる	イ) 自然や公園に癒される	ウ) 買い物が楽しめる
エ) 子育てを積極サポート	オ) 学びの環境をバックアップ	カ) 楽しく学べる施設が充実
キ) 家族の安全を守る	ク) 健康な生活を応援	ケ) 便利で暮らしやすい

裏付

《27の支える事実》≒主な地域資源

- ① 54万人の観客を動員する都内最大級の花火大会「いたばし花火大会」が開催される
- ② 「区立美術館」や「区立郷土資料館」などの施設が充実している
- ③ 江戸四宿のひとつである、中山道の1番目の宿場町「板橋宿」のおもかげを残している
- ④ こども動物園のある「東板橋公園」や、バーベキューも楽しめる「都立赤塚公園」などユニークな公園が多い
- ⑤ 石神井川沿いの桜並木や都立浮間公園など都内でも有数の桜の名所がある

- ⑥ 広大な赤塚の森や荒川河川敷などの水辺空間に恵まれ、自然豊かなまちを実現している
- ⑦ 安価な小売商店が多く、物価が比較的安い
- ⑧ 「ハッピーロード大山商店街」など庶民的な商店街が充実している
- ⑨ 大型ショッピングセンターや、映画館などのレジャー施設が充実している
- ⑩ 中学3年生まで医療費が無料であるなど、子育て支援制度が整っている
- ⑪ 保護者が交流できる「幼児ふれあい広場」や板橋区発祥の「赤ちゃんの駅」を設置している
- ⑫ 認可保育園が多いほか、空き施設を活用した「スマート保育」を推進し、育児環境が充実している
- ⑬ 学校施設を最大限に活用した板橋区版放課後対策事業「あいキッズ」実施している
- ⑭ 「子ども見守り隊」や「スクールガード」など、地域で子どもを見守るボランティア活動が活発である
- ⑮ 区内に6つの大学があり、地域と大学が連携した人材育成に注力している
- ⑯ 「教育科学館」「熱帯環境植物館」「エコポリスセンター」など、体験型の学習施設が充実している
- ⑰ 世界約85か国の25,000冊の絵本を所蔵した「いたばしボローニャ絵本館」がある
- ⑱ 自然塾やアドベンチャー講座などを開催している「植村冒険館」がある
- ⑲ 首都直下地震による想定建物被害が少なく、安全性は東京都23区内でもトップレベルである
- ⑳ 人口一人当たりの犯罪発生率が1%台と都内でも低いレベルである
- ㉑ 幹線道路網が放射状・環状に縦横に延びており、災害時などの緊急輸送に対応できる
- ㉒ 体育館、室内プールが4か所ずつあり、エクササイズやスポーツ関連プログラムが充実している
- ㉓ 帝京大学病院、日大病院、豊島病院、健康長寿医療センターなど大規模病院が多い
- ㉔ 東京23区の中で病床数が1位、病院数が2位と、医療施設が非常に充実している
- ㉕ 利便性の高い公共交通機関が充実していて、都心へのアクセスが良い
- ㉖ 家賃が比較的安く、物件数も多いため、暮らしやすい環境が整っている
- ㉗ 温泉施設や銭湯が多くあり、くつろげる場所が充実している

(2) 地域資源に位置付けた経緯

板橋地域資源ブランドを裏付けている《27の支える事実》は、「板橋区シティプロモーション戦略」策定にあたり実施した下記調査の結果を参考にリストアップしたものである。

【調査目的】

- ・「板橋区の目指すべき姿」についての仮説を検証する
- ・区政に期待すること（重要度）/満足度/政策や活動の浸透度などを測定する

【調査対象者】

- ・板橋区在住の30-44歳の既婚男女個人1,000サンプル
⇒5エリア別の政年齢構成に応じて割り付け

【調査手法】

- ・インターネット調査

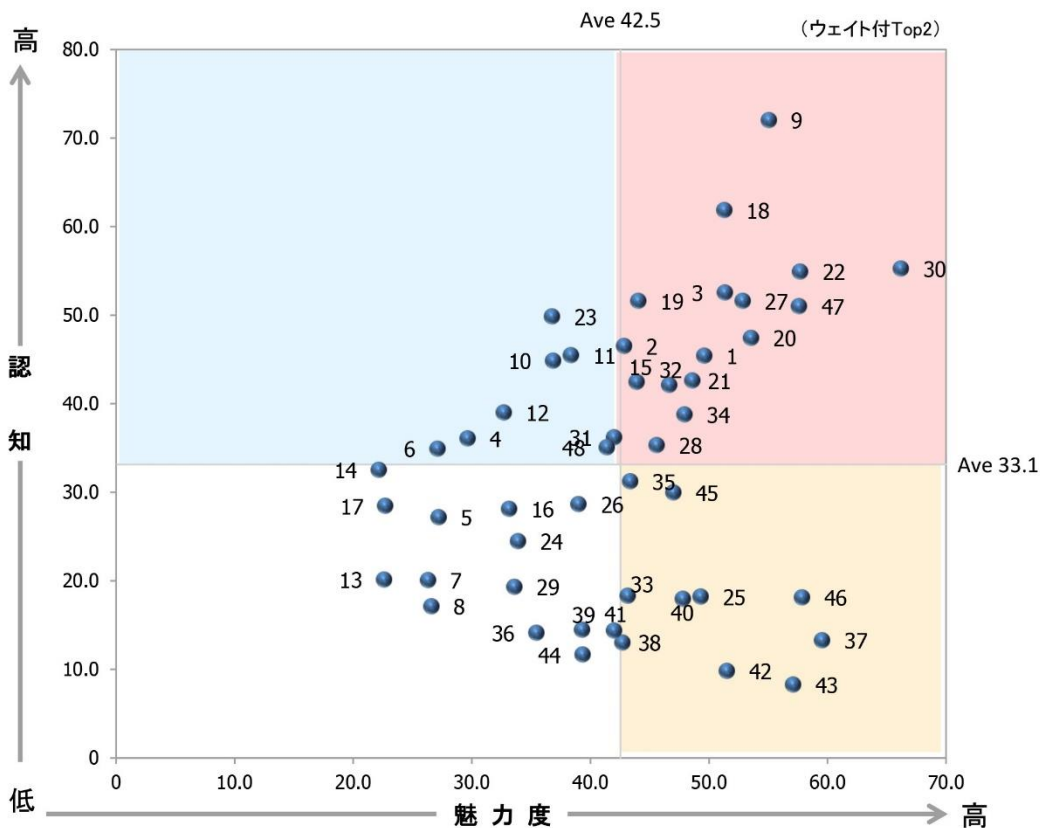
【調査時期】

- ・2014年8月1日から4日

地域資源を構成する事業や特徴、事実のリストアップにあたっては、上記調査のうち、シティプロモーションの戦略ターゲットである30~44歳の女性を対象とした「ファクトのベネフィットストラクチャ分析（認知×魅力度）」の調査・分析結果を主に参考にしており、その結果は以下のとおりであった。

ファクトのベネフィットストラクチャ分析（認知×魅力度） 板橋区女性

- Q. あなたは、板橋区が推進している以下の政策・施策について、どのくらいご存知ですか。
 Q. あなたは、板橋区が推進している以下の政策・施策について、どのくらい魅力を感じますか。



31 幅広いサービスを受けられる「すくすくカード」を配布
48 「東京都健康長寿医療センター」がある
11 「いたばしボローニャ子ども絵本館」がある
10 美術館、郷土資料館、科学館などの施設が充実
23 「板橋のいっぴん」など商店・商店街の活性化を実施
12 6つの大学があり地域と大学が連携した人材育成に注力
4 「エコポリスセンター」を設置
6 江戸四宿と呼ばれた「板橋宿」のおもかげを残している
41 災害に備え「防災センター」を区役所本庁舎に設置
44 事業者が「セーフティネットワーク」を構築
39 民生委員により防災に強い街づくりにも貢献
26 新鮮で安全な供給をめざし都市農業を推進
36 ICT機器を活用した学習環境の整備に努めている
24 商店街振興組合の直営ショップ「とれたて村」をオープン
29 「森のサロン」など様々な交流会や講習会を行っている
16 各地域で多彩な自主イベントが行われている
5 国内外問わず様々な国や地域と積極的な交流活動を推進
8 「田遊び」などの伝統芸能が伝承
7 「東光寺」など見どころ満載の歴史スポットが充実
17 光学や印刷業などの企業が多く有数の産業地域である
13 「スポーツ大使」や「スポーツプロモーター制度」の創設
14 「板橋CITYマラソン」を開催している

30 中3まで医療費が無料など子育て支援制度が整っている
22 利便性の高い公共交通機関が充実都心へのアクセスもよい
47 大規模病院が多く質の高い医療環境を提供
9 「いたばし花火大会」を開催
20 物価が比較的安く安価な小売商店や商店街が充実
27 「赤塚公園」「こども動物園」などユニークな公園が多い
3 浮間公園など都内でも有数の桜の名所がある
18 「ハッピーロード大山商店街」など庶民的な商店街が充実
1 公園・荒川など自然豊かな街を実現
21 家賃が比較的安く物件数も多いため暮らしやすい環境
34 体験交流活動に参加できる「あいキッズ」事業を実施
32 保育園や児童館に《赤ちゃんの駅》を全国ではじめて設置
28 温泉施設や銭湯が多くあり、くつろげる場所が充実
19 大型のショッピングセンターやレジャー施設がある
15 体育館・室内プールが4ヶ所ずつ設けられている
2 「赤塚植物園」など自然を体感できるスポットが充実
37 首都直下地震の想定建物被害の発生比率が低い
46 医療設備が非常に充実している
43 人口一人当たりの犯罪発生率が1%台
42 警察と地域が連携して防犯や犯罪抑止に取り組んでいる
25 公園に恵まれた街づくり
40 幹線道路網が災害時などの緊急輸送に対応
45 地域で子どもを見守るボランティア活動が活発
35 「幼児ふれあい広場」を児童館で実施
33 「スマート保育事業」など育児環境が充実
38 災害時に地域が連携できる街づくりを推進

2 観光資源の現況について

板橋区における「観光」とは、有名観光地を訪れるのとは違い、いつもの暮らしのちょっと先にあって、区内外のだれもが、普段着のまま、いつでも歴史や文化の魅力を感じられるまちとなっていることである。

それを象徴する観光資源として、まずあげられるのは、「いたばし花火大会」「板橋区民まつり」「板橋農業まつり」「板橋 City マラソン」のいたばし4大イベントである。

また、新一万円札の肖像となる、区にゆかりのある渋沢栄一氏を新たな観光資源と捉え、その偉業を顕彰する取り組みに加え、ゆかりのある自治体と連携して、事業を実施している。

その他、文化財や景観などに加え、「絵本のまち板橋」事業についても、関連各所と協力した様々な取り組みやイベントを通じ、観光資源としても活用していく。

(1) 観光資源の概要

「板橋区観光振興ビジョン2025」では、基本理念「歴史が結ぶ、懐かしさと新しさに出会えるまち」の実現に向け、5つの目標のもと71に事業が位置付けられている。それに基づき、文化・芸術、産業、環境、都市基盤など様々な分野を横断的に結び付けながら、区の魅力を内外に発信していくものである。

項目	概要	備考
観光振興ビジョン	<p>平成17年4月に、板橋区の観光振興を「文化」と「心」を基調とした観光まちづくりと位置づけ「板橋区観光振興ビジョン」を策定。</p> <p>平成27年10月に新たな板橋区基本構想を策定し、平成28年度から概ね10年後の将来像（「あるべき姿」）を「未来をはぐくむ緑と文化のかがやくまち“板橋”」と定めた。</p> <p>その後板橋区基本構想及び板橋区基本計画が策定されたことを受け、観光分野における方針を示す新たな「板橋区観光振興ビジョン2025」を平成30年2月に策定した。</p> <p>新たな観光振興ビジョンでは、区内の観光資源を調査・整理するとともに、文化・芸術、産業、環境、都市基盤など様々な分野を横断的に結び付けている。また、5つの目標のもと71の事業が位置付けられており、前期の総括として令和3年度に評価及び実績の報告を行い、順調に取り組むことができたとした。それにより、前期で体系化した71の事業を3つの視点を踏まえて、新たに55事業に再構築し、いたばしNo1実現プラン2025の重点戦略や板橋ブランド戦略とも整合を図り、観光の視点からまちづくりに関わっていることで「板橋らしさ」を前面に打ち出し事業の重点化を図りながら推進していくこととした。</p>	次回ビジョン令和7年度作成予定
板橋十景	平成15年2月に、「板橋らしさ」を感じさせる、風景や風物、感動や安らぎを与えるものを公募し、区民公募の委員、有識者などで構成した「板橋十景選定委員会」で選定されたもの。	<ul style="list-style-type: none"> ・赤塚溜池公園周辺 ・板橋 ・志村一里塚 ・石神井川の桜並木 ・松月院 ・田遊び ・高島平団地とけやき並木 ・東京大仏（乗蓮寺） ・南蔵院のしだれ桜 ・いたばし花火大会

項目	概要	備考
産業観光	区は産業が盛んな土地で、新河岸・舟渡地区を中心として工学や印刷、精密機器などが集まる産業集積地である。これを受け、寺社仏閣などの歴史資源のみならず、区の特徴である産業の生産プロセスなどを新たな観光資源と捉え、見学可能企業の公開や区主催の工場見学ツアーを実施。（工場見学ツアーは令和2年度より休止中）	見学可能企業 登録企業数 19社（令和5年8月1日現在）
板橋七福神	板橋七福神は、彫金と呼ばれていた彫刻師、田中金太郎さんが製作し、昭和12年頃に各寺に寄進したものである。いずれも高さ25cm程度、白木造りの素朴な感じのする福の神。毎年1月1日から7日まで、各寺院で開帳されている。 毎年開帳期間に合わせ、観光ボランティアによるガイド付き区民散策ツアーを実施している。	<ul style="list-style-type: none"> ・弁財天（安養院） ・布袋尊（西光寺） ・福祿寿（長命寺） ・恵比寿（観明寺） ・大黒天（西光院） ・毘沙門天（文殊院） ・寿老人（能満寺）
渋沢栄一関連	区にゆかりのある、渋沢栄一氏を、新たな観光資源と捉え、旧養育院（板橋区）との係わりや各分野にわたる功績に触れることで、区民が板橋区に愛着を持ち、誇りと感じることができるよう、福祉の板橋としての特色も考慮しつつ、「日本福祉の父」である渋沢にスポットをあてて、事業展開を図る。紙幣（日本銀行券）が2024年度上半期をめどに刷新されることを踏まえて、1万円札の肖像となる予定である同氏に係わる事業をパッケージ化し、20年ぶりに紙幣が刷新される機を捉えて、効果的に実施する ※渋沢栄一翁に顕彰に関する包括連携協定：「日本資本主義の父」である渋沢氏の功績・思想を発信するために、公益財団法人渋沢栄一記念財団、東京都北区、東京商工会議所、埼玉県深谷市、深谷商工会議所及びふかや市商工会が令和元年8月27日に6者協定を締結。令和2年11月11日に板橋区が新規加入。現在は江東区を加え8者協定となっている。	<p>主な事業（令和2年以降）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書籍「板橋版澁澤栄一地図」発行 ・グッズ作成（根付ストラップ） ・公開講座開催 ・スタンプラリー開催（北区との合同企画） ・物産展開催 ・協定締結団体でのイベントへの出店 ・パネル展の実施 ・リーフレット発行
いたばし観光センター	史跡を中心とする区内の名所や、郷土資料を紹介する施設として、平成17年4月23日にオープン。観光パンフレットの配布や観光グッズの販売、パネル展示などを行っている。	<p>職員体制</p> <p>再任用フルタイム1名 会計年度任用職員2名 観光ボランティア（当番制）</p> <p>開館時間 9時から17時 休館日 毎週火曜日（祝日の場合翌平日）</p>
いたばし観光ボランティア「もてなしたい」	板橋の魅力をもっと深く知ってもらうため、おもてなしの心で区内の名所を案内するボランティアガイド。 板橋区を5つのエリア（板橋、常盤台、志村、赤塚、高島平）に分けそれぞれの歴史や文化、自然などを紹介しながらガイドを実施。 希望に沿ってコースを設定することも可能。	<p>登録者数47名（令和5年4月1日現在）</p> <p>ガイド利用料は無料。</p> <p>月1回の事務連絡会 勉強会（年10回程度）</p> <p>区からの報酬はなし費用弁償（交通費）のみ支給</p>

項目	概要	備考
文化財	<p>文化財は、我が国の長い歴史の中で生まれ、はぐくまれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な国民的財産。板橋区は、文化財の保護とその活用をとおして、地域の歴史や文化を明らかとするとともに、それを地域資源に位置付けて、未来に向けて継承していく。</p>	<p>①有形文化財（107件） A 建造物 10件 B 美術工芸品 97件 ②無形文化財（8件） A 芸能 2件 B 工芸技術 6件 ③有形民俗文化財（25件） 風俗習慣、民俗芸能に用いられる衣服等 ④無形民俗文化財（10件） 風俗習慣、民俗芸能 ⑤記念物（40件） A 史跡 29件 B 天然記念物 11件</p>